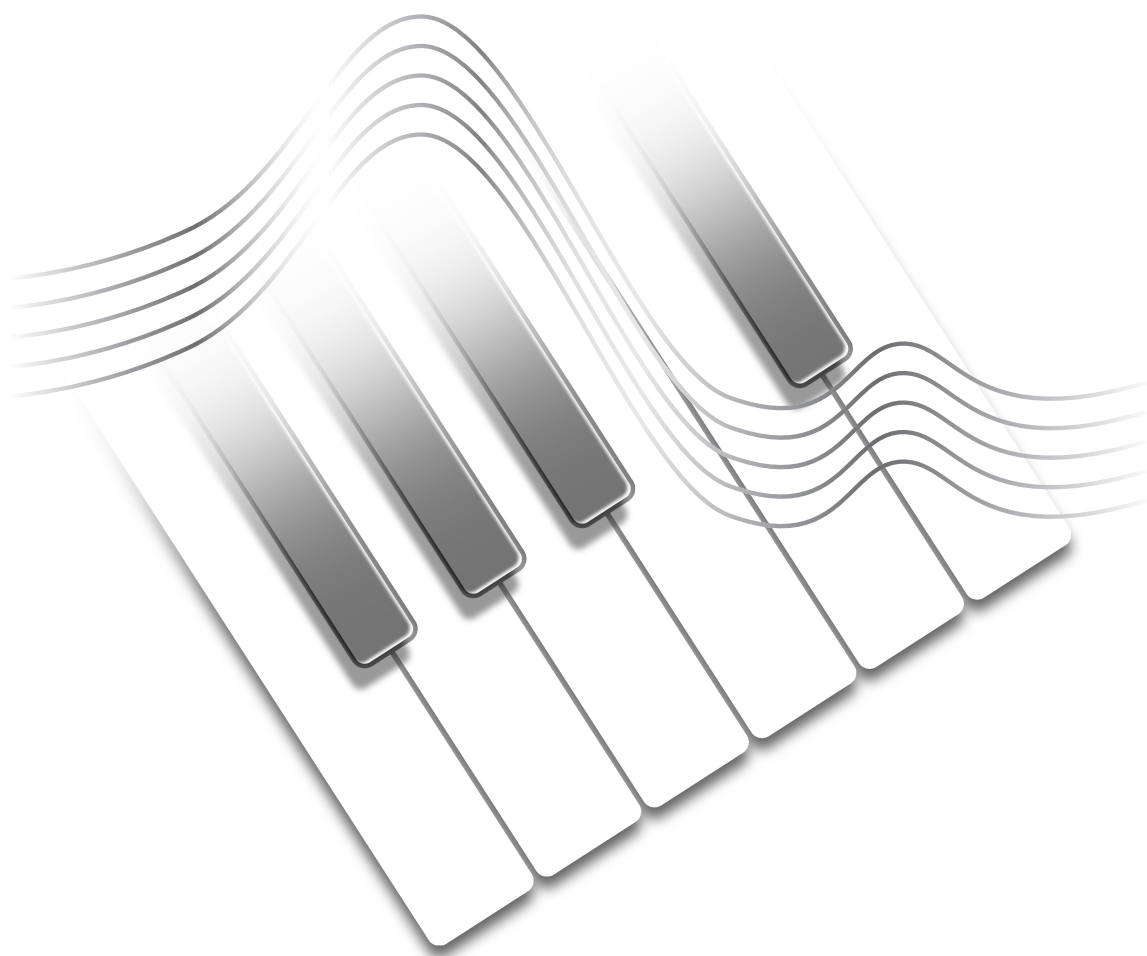


LK-41

取扱説明書（保証書別添）

ご使用の前に「安全上のご注意」をお読みの上、
正しくお使いください。

本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。



安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)



危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
そのままにしておくと失明の原因となります。



警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - 必ず本機指定のACアダプターを使用する
 - 電源は、AC100V (50/60Hz)のコンセントを使用する
 - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - 重いものを乗せたり、加熱しない
 - 加工したり、無理に曲げない
 - ねじったり、引っ張ったりしない
 - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。



⚠ 警 告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる



火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。



水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。



分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。



⚠ 警 告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。



袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本機やスタンド※に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



⚠ 注 意

AC アダプターについて

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
(必ず AC アダプター本体を持って抜く)



- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にはほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する



移動させるときは

移動させる場合は、必ず AC アダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れについて

お手入れの際は、AC アダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 注 意

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しない
 - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく



コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台のそばなど油煙があたるような場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所



表示画面について

- 表示画面の液晶パネルを強く押しったり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。



⚠ 注 意**音量について**

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。

**健康上のご注意**

ごくまれに、強い光の刺激や光の点滅を受けたりしていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。

- このような症状のある方がお使いになる場合は、事前に必ず医師と相談してください。
- 本機を使用する場合には、明るい部屋で使用してください。
- 使用中にこのような症状がおきた場合には、すぐに使用を中止して、医師の診察を受けて下さい。

**⚠ 注 意****重いものを置かない**

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

**スタンド※は正しく組み立てる**

スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。



※スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
- 鍵盤の光が発音時に暗くなる。
- マイクの音量が小さくなった。
- マイクの音質が劣化した。
- マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
- マイクを使うと電源が切れる。



主な特長

本機は次のような特長を備えたキーボードです。

■100 音色で演奏できます。🔊 16 ページ

ピアノやオルガン、ドラムセットなど豊富な音色を備えています。

■100 曲の内蔵曲を鳴らして楽しむことができます。🔊 17 ページ

本機の内蔵曲には、自動伴奏曲、ピアノ曲の2つのグループがあります。曲を聴いたり、自動伴奏曲のメロディーパートやピアノ曲の片方のパートを消して、その部分を自分で弾いたりすることができます。

■マイク端子にマイクをつなげてカラオケが楽しめます。🔊 19 ページ

マイク端子に市販のマイクをつなげれば、ソングバンクの曲やパソコンでダウンロードした曲による演奏でカラオケが楽しめます。

■鍵盤を弾く強弱で音量を変化させることができます。(タッチレスポンス機能)

🔊 30 ページ

タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変わります。

■内蔵曲を練習して、できばえを採点することができます。(3 ステップレッスン)

🔊 21 ページ

3 ステップレッスン機能で自分のペースで気軽に練習できます。また、採点機能で練習した、できばえを確認できます。

- 3 ステップレッスン機能：内蔵曲をパートごとに3つのステップにわけて練習できます。鍵盤の光*を追いかけて練習することができます。
- 採点機能：ステップ3で練習した成果をそれぞれ採点することができます。また、レッスン中や終了後に採点状況を表示と音声で知らせてくれます。

※直射日光の下や非常に明るい照明の下では、鍵盤が光っているのがわかりづらいことがあります。

■50 種類のリズムに合わせて演奏できます。🔊 26 ページ

ロックやポップス、ジャズなどさまざまなリズムを備えています。

■一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。(自動伴奏機能)

27 ページ

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。

インターネット
楽譜配信サービス
のご案内

130円(税込136円)/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、演歌、
ピアノ曲などの豊富なラインアップ！

Windows
95/98/Me/XP
対応

<http://music.casio.co.jp/score>

・・・「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます・・・

お好きな曲をレパートリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞つきの楽譜を表示、
印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて
曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

インターネット
カラオケ配信サービス
のご案内



インターネット・
ソングバンク

Windows
98/Me/XP
対応

- ご家庭のパソコンで手軽に本格的なカラオケが楽しめます。
- カラオケソフトは無料！(誰にでも簡単にインストール可)
- 歌詞色変わり表示、カラオケボックス感覚の歌い放題。
- 1時間100円(税込105円)からのお手軽料金。
- 試聴は無料。

この機会にカラオケソフト(サンプル曲付き)をぜひ、お試しください。

<http://music.casio.co.jp/karaoke>

目次

安全上のご注意

主な特長 4

目次 6

各部の名称 8

譜面立ての使い方 9

すぐ使いたい方に 11

電源について 12

家庭用100V電源で使うときには 12

電池で使うときには 12

オートパワーオフ機能／
電源切り忘れのお知らせ機能 13

接続について 14

ヘッドホン／アウトプット端子について 14

パソコンとの接続について 14

サスティン端子について 14

マイク端子について 14

付属品・別売品について 14

基本操作編

基本的な操作をしてみましょう 16

音を出してみましょう 16

音色を選ぶには 16

鍵盤の光を消すには 16

内蔵曲を鳴らしてみましょう 17

曲を聴いてみましょう 17

テンポを調節するには 18

メロディーの音色を変えるには 18

マイクを使って歌ってみましょう .. 19

内蔵曲を練習してみましょう

(3ステップレッスン) 21

採点機能について 22

ステップ1：弾くタイミングを覚えます 22

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます 23

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう ... 24

運指音声(しゃべる運指) 25

自動伴奏を鳴らしてみましょう 26

リズムを選ぶには 26

リズムを鳴らすには 26

コード自動伴奏を鳴らすには 27

フィルインを入れるには 28

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには 28



応用操作編

設定を変えてみましょう 30

トランスポーズ機能を利用するには 30

タッチレスポンス機能を利用するには 30

伴奏の音量を変えるには 31

チューニング機能を使うには 31

パソコンとの接続について 32

GMIについて 32

設定を変えるには 33

本機で送受信可能なメッセージ 35

附録

困ったときは 38

資料 40

トーンリスト 40

音色別発音域表 42

リズムリスト 43

ソングバンクリスト 44

フィンガードコード一覧表 46

ドラム音色リスト 48

カシオトーン用楽譜集のご紹介 49

ご使用上の注意 49

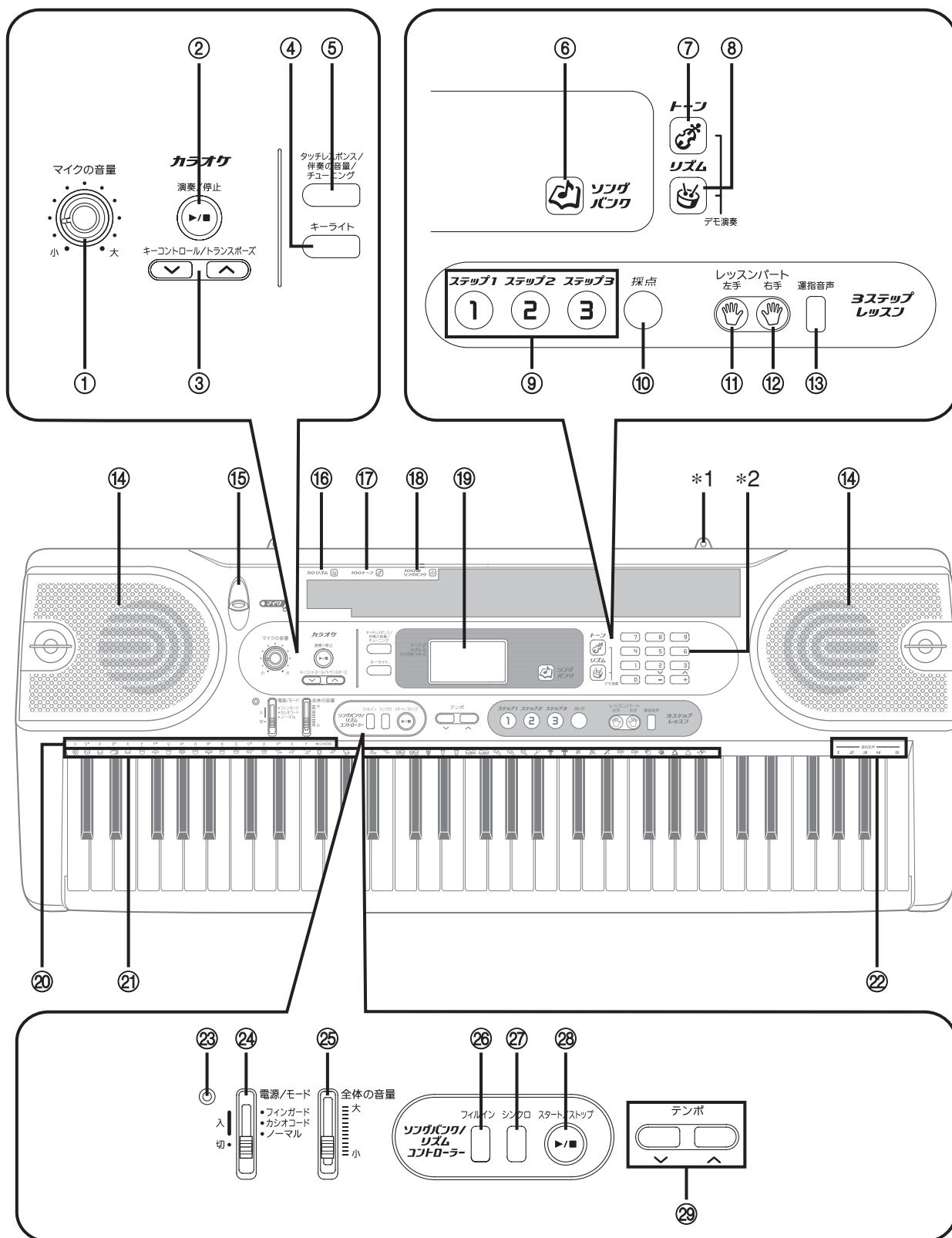
製品仕様 50

保証・アフターサービスについて ... 51

USB 端子で送信・受信される MIDI メッセージについて

本書に記載されている社名および商標名は、
それぞれ各社の登録商標および商標です。

各部の名称



NOTE

- 各部の名称は、本書「基本操作編」の説明文中で太字で記載されています。
- ㊦の数字は、参照ページです。

●カラオケ

- ① マイクの音量つまみ ㊦19
- ② 演奏／停止ボタン ㊦20
- ③ キーコントロール／トランスポーズボタン ㊦20, 30
- ④ キーライトボタン ㊦16
- ⑤ タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタン ㊦30, 31, 33, 34
- ⑥ ソングバンクボタン ㊦17, 20
- ⑦ トーンボタン ㊦13, 16, 18
- ⑧ リズムボタン ㊦26, 30

●3ステップレッスン

- ⑨ ステップ1～3ボタン ㊦11, 22, 24
- ⑩ 採点ボタン ㊦24
- ⑪ 左手ボタン ㊦22, 23
- ⑫ 右手ボタン ㊦22, 23, 24
- ⑬ 運指音声ボタン ㊦25

⑭ スピーカー

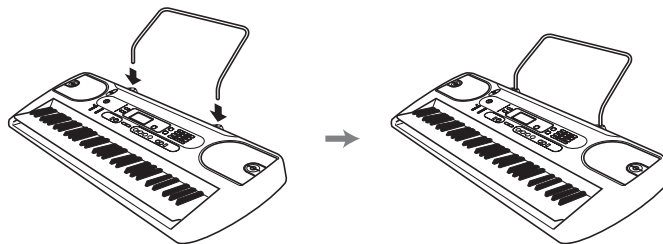
- ⑮ マイク端子(MIC) ㊦19
- ⑯ リズムリスト ㊦26, 43
- ⑰ トーンリスト ㊦16, 18, 40
- ⑱ ソングバンクリスト ㊦17, 19, 44
- ⑲ 液晶表示
- ⑳ 音名 ㊦27
- ㉑ 打楽器イラスト ㊦48
- ㉒ 運指音声 ㊦48
- ㉓ 電源ランプ ㊦3, 11
- ㉔ 電源／モードスイッチ ㊦11, 16, 26, 27
- ㉕ 全体の音量スライダー ㊦16

●ソングバンク／リズムコントローラー

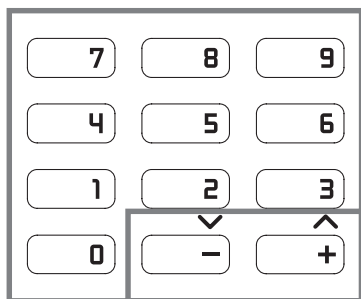
- ㉖ フィルインボタン ㊦28
- ㉗ シンクロボタン ㊦27, 28
- ㉘ スタート／ストップボタン ㊦11, 17, 23, 24, 26～28
- ㉙ テンポボタン ㊦18

※1 譜面立ての使い方

譜面立ては、本体の上面にある2つの穴にその両端を差し込んでお使いください。



※ 2

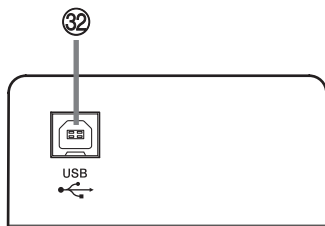


③① 数字ボタン
11, 16~18, 20,
26, 31, 33, 34

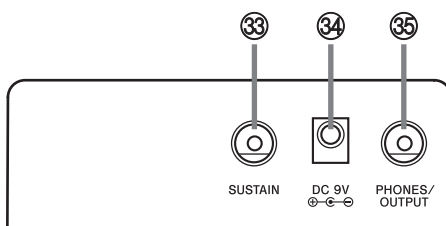
③② + / - ボタン
16~18, 20, 26,
31, 33, 34

- 表示中の番号や数値を変更するときに押します。
- 負の数は+ / - ボタンでのみ指定できます。

【背面図】



③② USB端子(USB) 13 32



③③ サスティン端子(SUSTAIN) 14 14

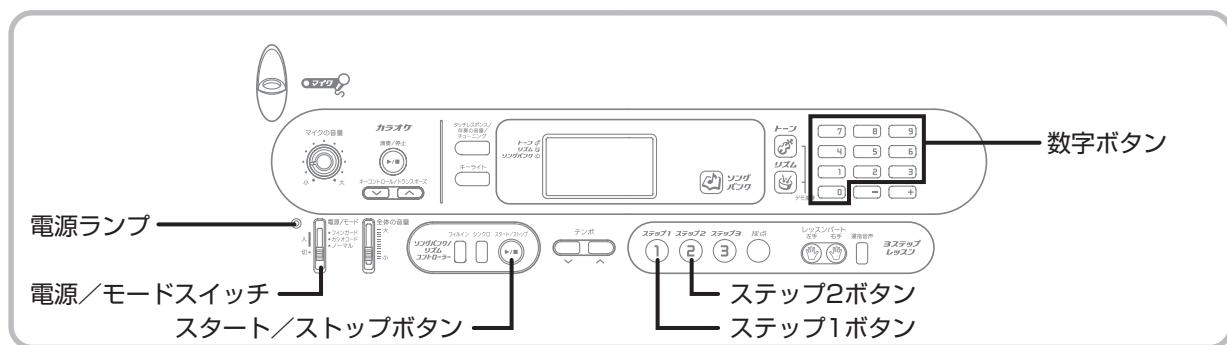
③④ 電源端子(DC 9V) 12

③⑤ ヘッドホン／アウトプット端子 14
(PHONES/OUTPUT)

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 液晶表示素子はその特性上、見る角度によってコントラストが変わります。本機ではイスに座ったときの演奏姿勢で見やすくするように初期設定されています。なお、お客様のお好みでコントラストを調整することはできません。

すぐ使いたい方に



本機に内蔵の100曲の自動演奏曲を、光のガイドに従って弾きながら、3つのステップでマスターできます。ここではステップ1、2を使って演奏してみましょう。

4 メロディーを弾いてみましょう。

1 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。

- 電源ランプが点灯します。



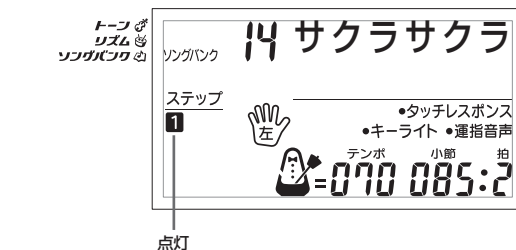
2 ソングバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号(2桁)を押します。

- ソングバンクリストは、巻末にも記載されています(44ページ)。
- 例：“14 さくら さくら”の場合は、1→4の順番に押します。



3 ステップ1ボタンまたはステップ2ボタンを押します。

- カウントが鳴り、待機状態になります。初めに押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 指番号が音声でガイドされます(「運指音声」25ページ参照)。



- 操作3でステップ1を押したとき
- 鍵盤を押してください。



- メロディーを弾く速さに合わせて、伴奏(または左手パート)がついていきます。
- 点灯していない鍵盤を押してもメロディーが鳴ります。

- 操作3でステップ2を押したとき
- 点灯している鍵盤を押してください。



- 点灯している間、鍵盤を押さえます。
- 次に押さえる鍵盤が点滅します。
- 正しい鍵盤を押さえて弾くと、伴奏(または左手パート)がついてきます。

5 レッソンを途中で止めるときは、スタート/ストップボタンを押します。

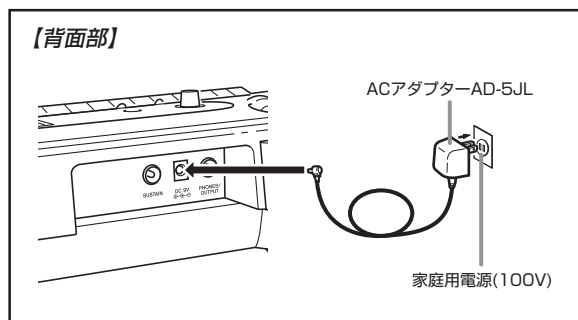
電源について

本機は家庭用 100V 電源、電池が使える 2 電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

家庭用 100V 電源で使うときには

本機指定の AC アダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式 : AD-5JL



なお、AC アダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

⚠ 警告

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定の AC アダプターを使用する
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する
- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手で AC アダプターに触れない
- AC アダプターは水のかからない状態で使用する
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かない

⚠ 注意

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ず AC アダプター本体を持って抜く)
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

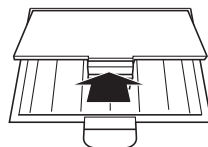
重要

- AC アダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- AC アダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

電池で使うときには

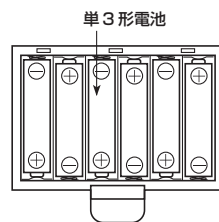
電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

- 1 本機底面部の電池ケースのフタをはずします。

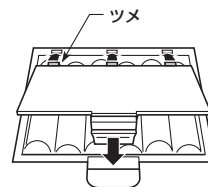


- 2 単3形電池6本を入れます。

- ⊕ ⊖ の向きに注意してください。



- 3 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



電池について

●電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。

- アルカリ電池使用時……約 4 時間※
- マンガン電池使用時……約 1 時間※

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

⚠警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕ と ⊖ の向き）に注意して正しく入れる

⚠注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

オートパワーオフ機能／ 電源切り忘れのお知らせ機能

オートパワーオフ機能について

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。

無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約 6 分で自動的に電源が切れます。

この場合、電源／モードスイッチを押すと、再び電源が入ります。

NOTE

- アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は動きません。

オートパワーオフ機能をキャンセルするには

- 1 トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れたりすることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

電源切り忘れのお知らせ機能

電源を入れたまま本機を放置すると、約 6 分後に鍵盤が光って、電源の切り忘れをお知らせします。（このとき、音は出ません。）この場合、各ボタンや鍵盤を押すと、電源を入れたときの状態に戻ります。

NOTE

- 電池を使用しているときは、電源切り忘れのお知らせ機能は動きません。

電源切り忘れのお知らせ機能をキャンセルするには

- 1 トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- 電源を入れ直すと、電源切り忘れのお知らせ機能が働くようになります。

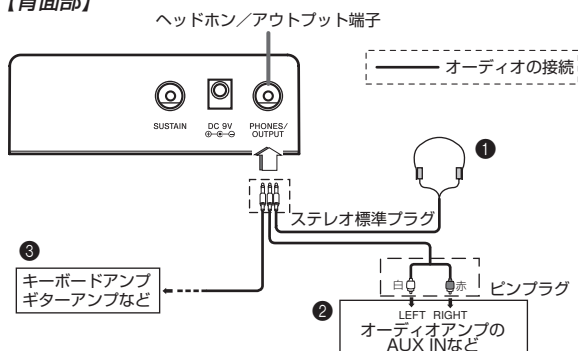
接続について

ヘッドホン／アウトプット端子について

準備

- 接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



●ヘッドホンをつなぐには（図①）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには（図②）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

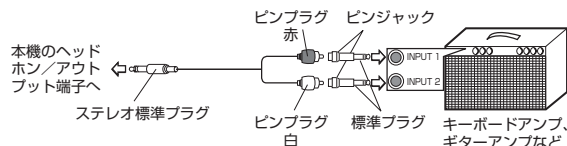
●楽器用アンプと接続するには（図③）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード※を使用します。

※本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの
アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。
（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】

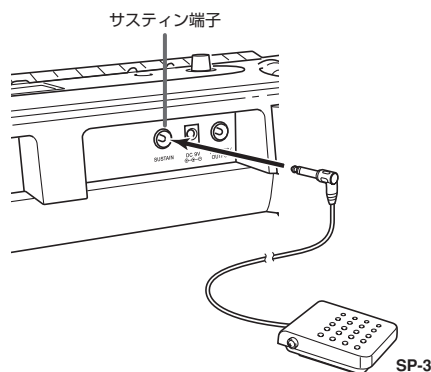


パソコンとの接続について

パソコン（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（32 ページ「パソコンとの接続について」参照）。

サスティン端子について

サスティン端子にサスティンペダル（SP-3またはSP-20）を接続すると、下記のような使い方ができます。



- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」。

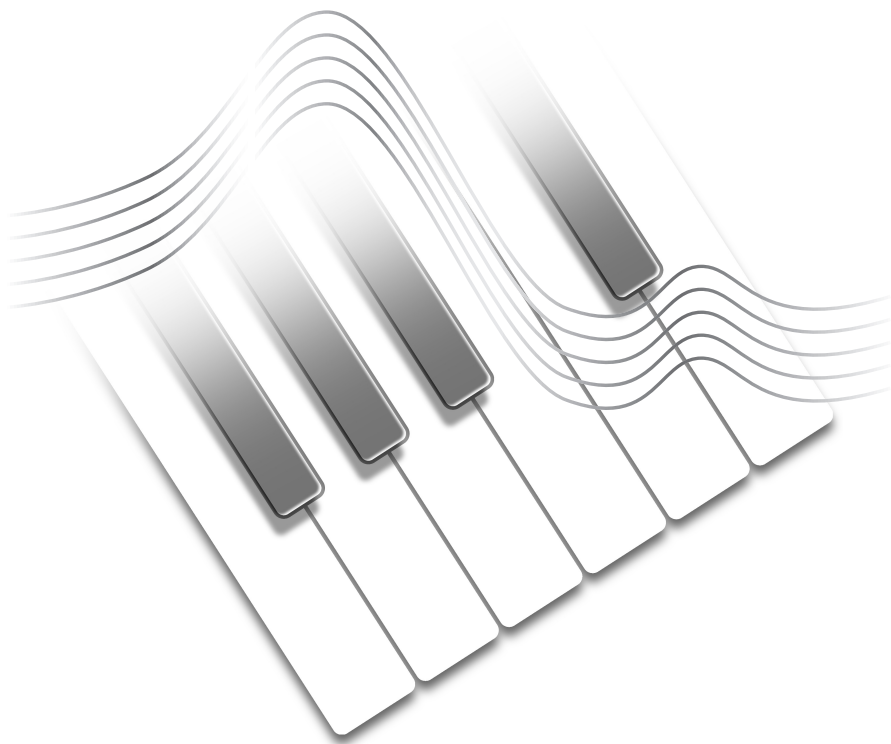
マイク端子について

マイク端子への接続については、19ページの「マイクを使って歌ってみましょう」を参照してください。

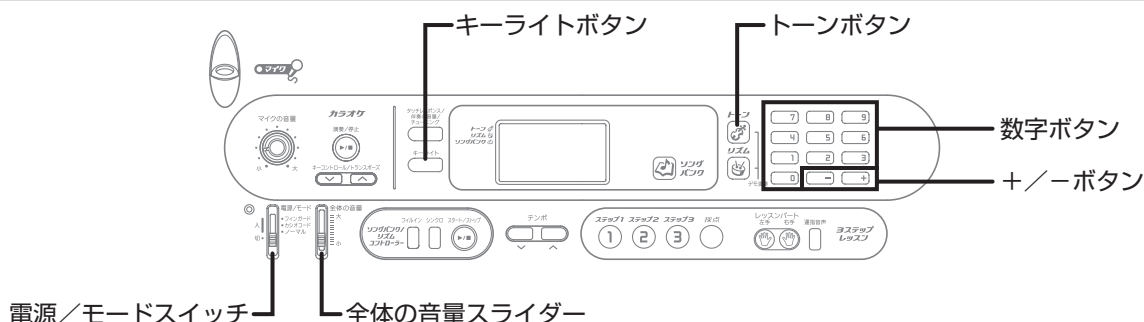
付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

基本操作編



基本的な操作をしてみましょう



ここでは本機の基本操作について説明します。

音を出してみましょう

- 1 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 2 全体の音量スライダーを調節します (弾く前は小さめにしておきましょう)。
- 3 鍵盤を弾いてみましょう。
 - 電源を入れた直後は、ソングバンクモードになります。

音色を選ぶには

本機には 100 種類の音色が内蔵されています。

- 1 トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。
 - 本体上のトーンリストでは、音色名が省略されています。巻末の「トーンリスト」(40 ページ) に全音色が記載されています。
- 2 トーンボタンを押します。



- 3 数字ボタンを使って、音色の番号を数字 (2桁) で入力します。

例: “42 アコースティックベース” なら、4→2 と入力します。

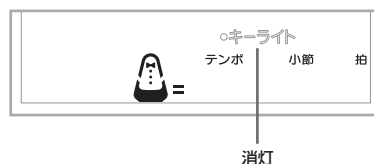
42 アコースティックベース

NOTE

- 音色表示中に +/- ボタンで音色番号を 1 つずつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 音色番号 99 のドラムセットは、鍵盤ごとに異なる打楽器音や運指音声の発音が割り当てられています。(鍵盤上の打楽器イラスト、運指音声表記および 48 ページ参照)

鍵盤の光を消すには

- 1 キーライトボタンを押すごとに、オン/オフが切り替わります。
 - キーライトをオフにすると、画面上のキーライトインジケータが消灯します。

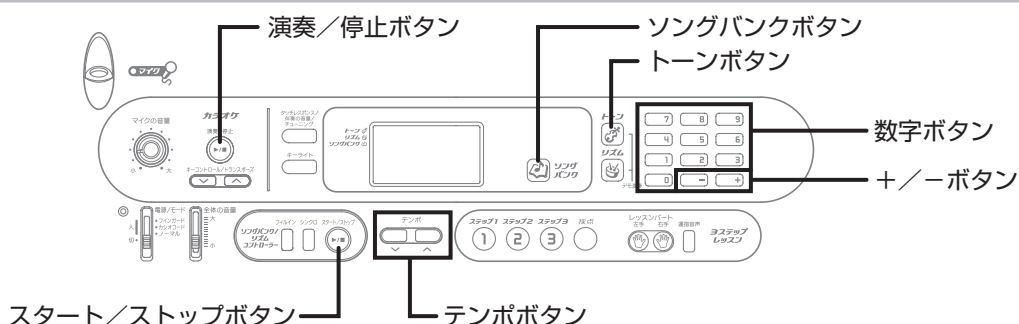


同時発音数について

本機は、同時に最大 24 音まで発音します。ただし、一部の音色では 2 種類の音色を組み合わせるため最大 12 音になるものもあります。

- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

内蔵曲を鳴らしてみましょ



本機は100種類の自動演奏曲を内蔵しています。その中から好きな曲を選んで、聴いたり、練習したり、歌ったりできます。内蔵曲は、次のように2つのグループにわかれて

- 自動伴奏曲：85 曲
マイクを接続してカラオケモードにしたときは、演奏／停止ボタンを押すと、メロディー・パートの音量が小さくなります。
- ピアノ曲：15 曲
練習曲集と名曲集にわかれて

曲を聴いてみましょ

準備

- 全体の音量（16 ページ）を調節します。

1 ソングバンクリストから曲を選び、その番号を確認

- ソングバンクリストは、巻末にも記載されています（44 ページ）。

2 ソングバンクボタンを押してソングバンクモードに

- ソングバンクボタンが点灯



3 数字ボタンで、曲の番号（2 桁）を入力

例：“14 さくら さくら” なら1→4と入力

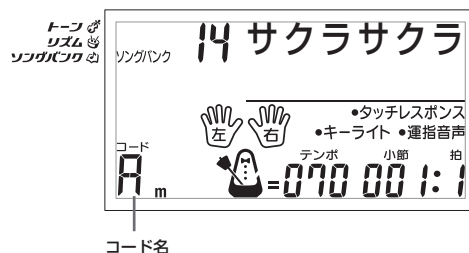


NOTE

- 電源を入れたときは 00 番の曲が選ば
- 曲番号は、+ / - ボタンでも指定

4 スタート/ストップボタンを押すと自動演奏が

始まります。



5 スタート/ストップボタンを押すと自動演奏が

止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返

テンポを調節するには

テンポ（1 分間に演奏される拍数）を 40 ～ 255 の範囲で調節します。テンポの設定は、ソングバンク、3 ステップレックスン、コード自動伴奏に対して有効です。

- 1 テンポボタンを押します。
 - へ… 数値が増える（テンポが速くなる）
 - ゝ… 数値が減る（テンポが遅くなる）
 - テンポ：1 分間に演奏される四分音符の数です。



NOTE

- テンポ値の点減中は、数字ボタン*、+ / - ボタンでも調節できます。
※ "090" のように 3 桁で入力します。
- テンポボタンの へ / ゝ ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。
- ピアノの曲をおすすめのテンポで演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。テンポを調節すると、一定のテンポで演奏します。

メロディーの音色を変えるには

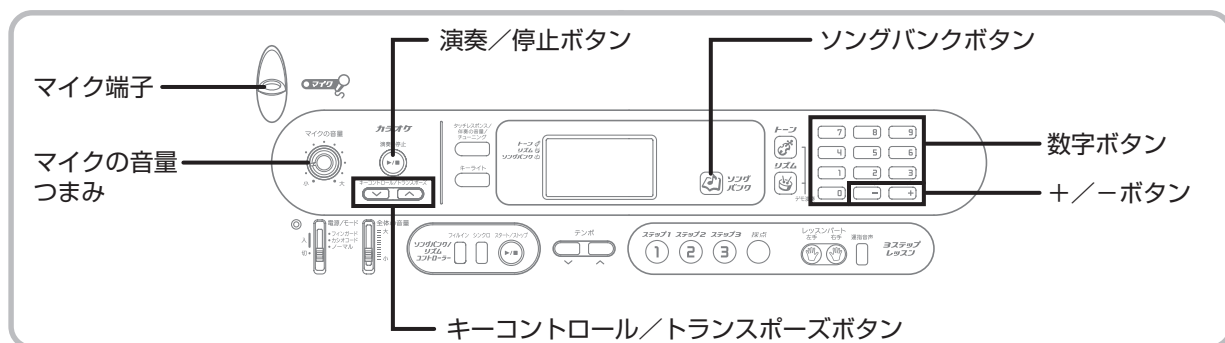
本機には 100 種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。

- 1 トーンボタンを押します。
- 2 トーンリストから音色を選び、数字ボタンで音色番号を入力します。

NOTE

- + / - ボタンでも音色を切り替えられます。
- ピアノの曲（両手演奏の曲）については、左右のパートとも同じ音色が割り当てられます。
- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

マイクを使って歌ってみましょう



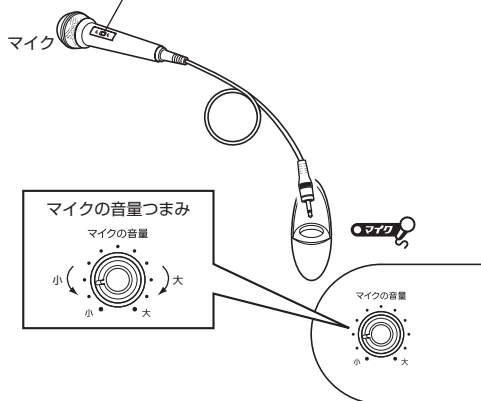
本機に内蔵されている自動演奏曲のうち、00～09 および 11～71 番の曲を歌うことができます。その中からお好きな曲を選んで歌ってみましょう。

マイク端子について

マイク端子に別売のマイクを接続すれば、自動演奏曲やダウンロード曲による演奏でカラオケが楽しめます。マイクを接続するときはマイクボリュームを絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

- 1 マイクを接続するときは**マイクの音量つまみ**を“小”の方向に絞っておきましょう。
- 2 **マイクのオン/オフ (ON/OFF) スイッチ**を“オン (ON)”にします。
- 3 **マイクの音量つまみ**で適切な音量に調整しましょう。

マイクのオン/オフ (ON/OFF) スイッチ



重要

- マイクを使用しないときは、オン/オフ (ON/OFF) スイッチを“オフ (OFF)”にして、マイクをマイク端子から抜いてください。

●マイクの推奨タイプ

ダイナミックマイク (標準プラグ)

●ハウリングについて

下記のようなことを行くと、キーンという音(ハウリング)が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに近づける。

このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーから遠ざければ鳴りやみます。

●ノイズについて

蛍光灯などの近くでマイクを使用するとノイズ(雑音)が発生する場合があります。このような時は、蛍光灯などのノイズを発生させている場所からマイクを離すことでノイズを拾わず、ノイズは鳴らなくなります。

操作手順

準備

- 全体の音量 (16 ページ)、曲の音量 (31 ページ)、マイクの音量 (19 ページ) を調節します。

1 ソングバンクリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ソングバンクリストは、巻末にも記載されています (44 ページ)。

② ソングバンクボタンを押します。



③ 数字ボタンで、曲の番号（2桁）を入力します。

NOTE

- 電源を入れたときは、00番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、+/- ボタンでも指定できます。

④ 演奏／停止ボタンを押すと、演奏が始まります。

- マイクを使って、曲にあわせて歌ってみましょう。
- 演奏／停止ボタンを押すと、メロディーパートの音量が小さくなります。音色も歌のガイドとして聴きやすい音色に変更されます。

⑤ キーコントロール／トランスポーズボタン（Λ/V）を押して、曲全体の音の高さを変更できます。

Λ・・・半音単位で音が上がります。

V・・・半音単位で音が下がります。

03 キーコントロール（+）

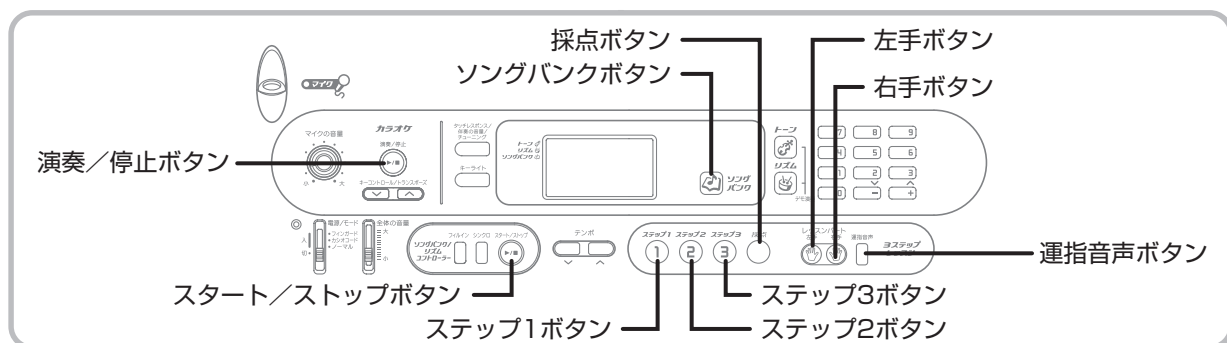
⑥ 演奏／停止ボタンを押すと、演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

NOTE

- 操作5でキーコントロール／トランスポーズボタンのVとΛを同時に押すと、“00”になります。

内蔵曲を練習してみましょう(3ステップレッスン)



本機の3ステップレッスンを使って、内蔵曲を練習し、できばえを採点することができます。

<レッスンの流れ>

ステップ1 → ステップ2 → ステップ3 → 採点

3ステップレッスン機能について

3ステップレッスンは、内蔵曲を3つのステップに分けて練習していくための機能です。

ステップ1：弾くタイミングを覚えます ㊦22 ページ

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます ㊦23 ページ

ステップ3：普通の速で弾いてみましょう ㊦24 ページ

曲の種類と練習できるパート

内蔵曲には、自動伴奏曲とピアノ曲の2種類があります。選んだ曲の種類によって、3 ステップレッスンで練習できるパートが異なります。

自動伴奏曲

自動伴奏パートとメロディーパートからなります。3 ステップレッスンでは、メロディーパート (右手パート) のみを練習することができます。

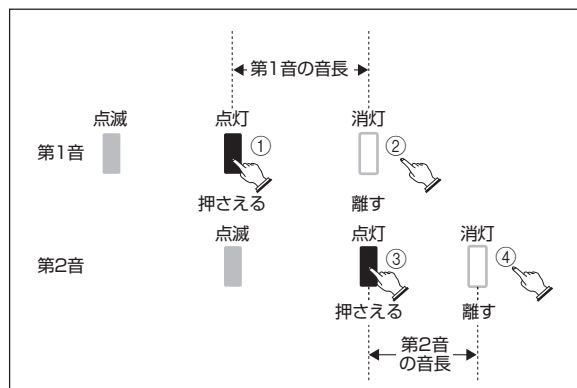
ピアノ曲 (両手演奏の曲)

メロディー (右手パート) と伴奏 (左手パート) の2 つのパートに別れています。3 ステップレッスンでは、右手・左手パートの両方を練習することができます。

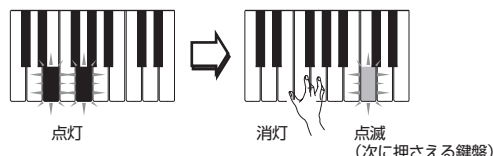
鍵盤の光の見方について

自動伴奏曲では、鍵盤の光は、音の高さ (押さえる鍵盤) だけでなく、音の長さ (鍵盤を押さえている時間) や次に押さえる鍵盤を教えてください。それぞれの見方は次の通りです。

- 音高ガイド …… 点灯している鍵盤が押さえる鍵盤です。
- 音長ガイド …… 鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さ (音長) になります。点灯している間、鍵盤を押さえます。
- 次の音ガイド …… 点滅している鍵盤が、次に押さえる鍵盤です。
- 同じ音の高さが連続する場合のガイド
…………… 鍵盤が前の音の音符の長さだけ点灯した後、一瞬消灯して再び点灯します。



ピアノ曲のステップ1、2の場合は、音の長さはガイドされません。点灯した鍵盤を押さえると同時に消灯し、次に押さえる鍵盤が点滅します。



ピアノ曲のステップ3の場合は、音の長さもガイドされます。点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。

3 ステップレッスンのテンポ設定について

3 ステップレッスンのテンポは、「テンポを調節するには」（18 ページ）の方法で変更することができます。

採点機能について

3 ステップレッスンのステップ3で練習した成果を100点満点で採点してくれる機能です。採点モードで演奏中も、画面上や音声で演奏の評価を確認できます。

採点モード中の画面表示について

レベルインジケータ：現在の演奏評価が一目でわかります。インジケータの点灯が多いほど、得点が高いことを表します。



採点結果について

曲の始めから最後まで演奏を採点し、総合得点と評価ランクを画面に表示します。

<評価ランクの表示>

画面表示	評価のランク
“スバラシイ”	高
“スゴイ!”	
“ガンバッタネ!”	
“ガンバッテ!”	低

- “****” 採点を途中で止めた場合に表示されます

NOTE

- 採点モード中にスタート/ストップボタンを押して演奏を中断した場合は、その時点の得点だけが表示されます。

ステップ1:弾くタイミングを覚ええます

鍵盤を弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここではガイドの点灯する鍵盤にタイミングを合わせて、鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏できます。押しまちがいを気にせずに、鍵盤を弾くタイミングだけ覚えましょう。

- 1 レッスンする曲を選びます。
- 2 右手ボタンまたは左手ボタンを押して、練習したいパートを選びます。

<両手を同時に練習したい場合>

右手ボタンと左手ボタンを同時に押します。

- 選んだパートに対応して、画面上の手の左、右の文字表示が消灯します。

例：右手ボタンを押した場合

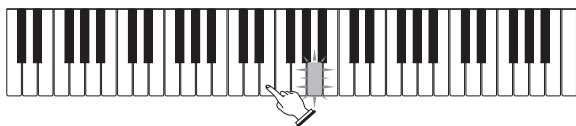


- 3 ステップ1ボタンを押して、ステップ1のレッスンを開始します。



- カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き)1音目の待機状態になります。
- 指番号が音声でガイドされます（「運指音声」25 ページ参照）。

- ④ 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、演奏してみましょう。



- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏（または左手パート）は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。
- 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけ音が進行しますのでご注意ください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、1つしか音は進みません。

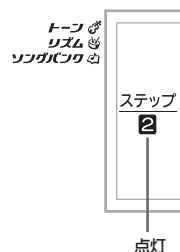
- ⑤ レッスンを途中で止めるときは、**スタート/ストップボタン**を押します。

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます

音を正しく鍵盤で弾くレッスンです。指使い（運指）を液晶表示で確認しながら、ガイドが示す通りに弾いてみましょう。伴奏（または左手パート）はメロディー（または右手パート）を正確に弾くまで待ってくれますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

- ① レッスンする曲を選びます。
- ② **右手ボタン**または**左手ボタン**を押して、練習したいパートを選びます。

- ③ **ステップ2ボタン**を押して、ステップ2のレッスンを開始します。



- カウントの後、（前奏のある曲は前奏に続き）1音目の待機状態になります。
- 指番号が音声でガイドされます（「運指音声」25ページ参照）。

- ④ 鍵盤の光ガイドに合わせて演奏してみましょう。



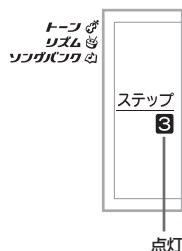
- カウント中および前奏中は初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
- ピアノ曲で複数の鍵盤が点灯しているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。

- ⑤ レッスンを途中で止めるときは、**スタート/ストップボタン**を押します。

ステップ3: 普通の速さで弾いてみましょう

ステップ2で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえる鍵盤はガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

- ① レッスンする曲を選びます。
- ② 右手ボタンまたは左手ボタンを押して、練習したいパートを選びます。
- ③ ステップ3ボタンを押して、ステップ3のレッスンを開始します。

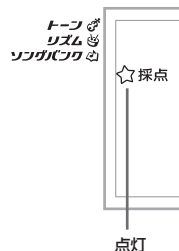


- 伴奏（左手パート）が普通の速さで演奏されます。

- ④ 光ガイドに合わせて演奏してみましょう。
- ⑤ レッスンを途中で止めるときは、スタート/ストップボタンを押します。

採点：ステップ3での練習成果の確認

- ① 採点ボタンを押します。
 - 画面上の採点インジケーターが点灯します。



- カウントの後、採点モードになります。

- ② 画面表示を目安にして、演奏してみましょう。
 - 採点を途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。そこまでの演奏に対する得点のみ、画面表示されます（評価ランクは“****”が表示されます）。
- ③ 演奏が終了すると、採点結果を表示します。
 - 評価ランクの表示と効果音については、22ページの「採点結果について」を参照してください。
 - ソングバンクボタンを押すと、曲の選択画面に戻ります。



運指音声（しゃべる運指）

指番号を音声でガイドします。ステップ1あるいは2をレッスン中で、片手パートのみを選択しているとき、弾くべき鍵盤の指番号を喋っていきます。たとえば、親指なら“いち”と、親指・中指・小指なら“いち”“さん”“ご”と順にしゃべってガイドする機能です。

運指音声は、弾くべきタイミングになっても鍵盤が押されなかった場合にだけガイドされます。

<運指音声ガイド>

“いち”	: 指番号 1 / 親指
“に”	: 指番号 2 / 人さし指
“さん”	: 指番号 3 / 中指
“よん”	: 指番号 4 / 薬指
“ご”	: 指番号 5 / 小指

運指音声をオン／オフするには

運指音声ボタンを押して、運指音声のオン／オフを切り替えます。

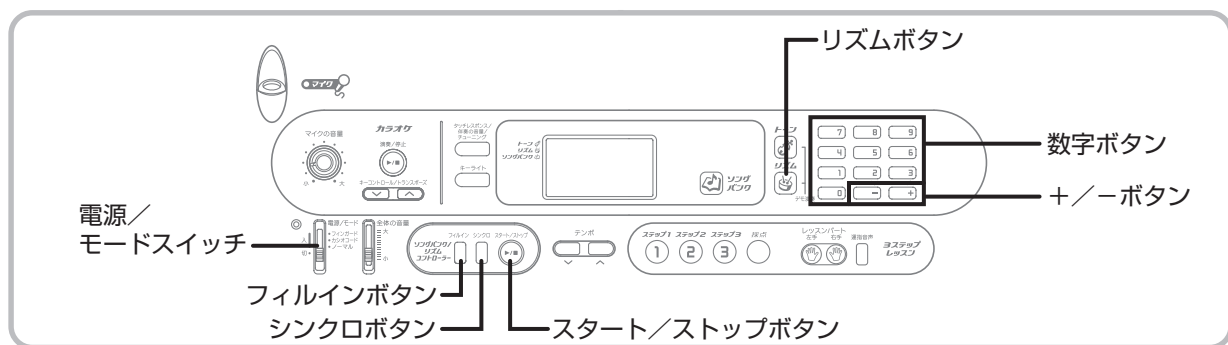
- 画面上に運指音声のインジケーターが点灯していないときは、運指音声は鳴りません。



NOTE

- 採点中は、インジケーターが点灯していても運指音声は鳴りません。
- 採点機能を終了すると、運指音声は採点モードに入る前の設定に戻ります。

自動伴奏を鳴らしてみよう



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート（低音部）とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム（打楽器音）と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気合った音色が鳴ります。これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。

- 3 数字ボタンで、リズムの番号を数字（2桁）で入力します。

NOTE

- リズム番号は、+/- ボタンでも指定できます。

リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

- 1 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 2 スタート/ストップボタンを押します。
 - 選ばれたリズムが鳴り始めます。
- 3 スタート/ストップボタンを押すと停止します。

NOTE

- 電源／モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、50種類のリズムが搭載されています。

- 1 リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。
 - 本体上のリズムリストでは、リズム名が省略されています。巻末の「リズムリスト」（43ページ）に全リズムが記載されています。
- 2 リズムボタンを押します。

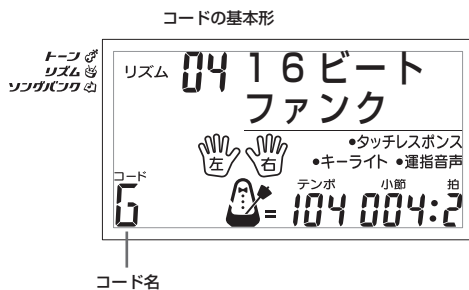


コード自動伴奏を鳴らすには

準備

- リズムを選び、テンポを調節します。

- 1 電源／モードスイッチを“カシオコード” “フィンガード” のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。
- 2 スタート／ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。
- 3 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。
 - 伴奏鍵盤や具体的な方法については、電源／モードスイッチの設定に応じて、「カシオコードについて」 27 ページ
「フィンガードについて」 28 ページ
をご参考ください。



- 選んだリズムと連動したコード自動伴奏が始まります。
- 4 スタート／ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

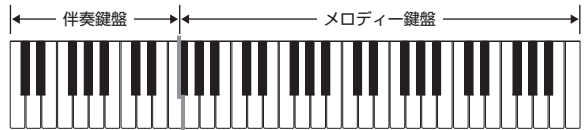
NOTE

- 操作 2 でスタート／ストップボタンの代わりに、シンクロナイズボタンを押すと、操作 3 により自動的に伴奏が始まります。このボタンについて詳しくは、28 ページを参照してください。
- 伴奏パートの音量は、全体の音量とは別に調節できます。詳しくは、31 ページの「伴奏の音量を変えるには」を参照してください。

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により 4 種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

【コードの種類】

カシオコードでは最小限の指使いで以下の 4 種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を 1 つ押します (伴奏鍵盤の範囲内であれば、1 オクターブ違う同音でもかまいません)。	G (C メジャー) 音名 → C D E F G A B C D E F
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を 1 つ押します。	Cm (C マイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を 2 つ押します。	C7 (C セブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を 3 つ押します。	Cm7 (C マイナーセブンス)

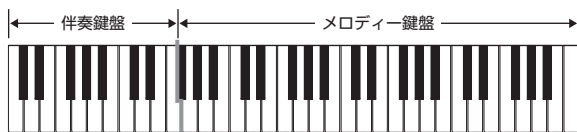
NOTE

- 2 つ目以降の伴奏鍵盤は、1 つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法（“C”を根音とした場合）は次のとおりです。

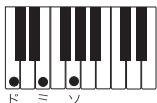
【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

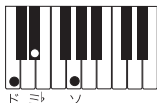
- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

C(メジャー)



ド ミ ソ

Cm(マイナー)



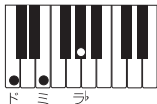
ド ミ♭ ソ

Cdim(ディミニッシュ)



ド ミ♭ ファ#

※1 Caug(オーギュメント)



ド ミ ファ

Csus4(サスフォー)



ド ファソ

※2 C7(セブンス)



ド ミ ソ シ♭

※2 Cm7(マイナーセブンス)



ド ミ♭ ソ シ♭

※2 CM7(メジャーセブンス)



ド ミ ソ シ

Cm7b5(マイナーセブンスフラットファイフ)



ド ミ♭ ファ# シ♭

※1 C7b5(セブンスフラットファイフ)



ド ミ ファ# シ♭

C7sus4(セブンスサスフォー)



ド ファソ シ♭

※2 Cadd9(アドナインズ)



ドレミ ソ

※2 Cmadd9(マイナーアドナインズ)



ドレミ♭ ソ

※2 CmM7(マイナーメジャーセブンス)



ド ミ♭ ソ シ

※1 Cdim7(ディミニッシュセブンス)



ド ミ♭ ファ# ラ

★ 根音が“C”以外の場合は、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(46ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

※1：転回形(右のNOTEを参照)は使えません。最低音が根音となります。

※2：5度のソの音を押さなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。
…※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
…※2のコードを除く。

フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

- スタート/ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
- フィルインボタンを押します。
● リズムにフィルインが入ります。

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

- シンクロボタンを押してシンクロスタートの待機状態にします。

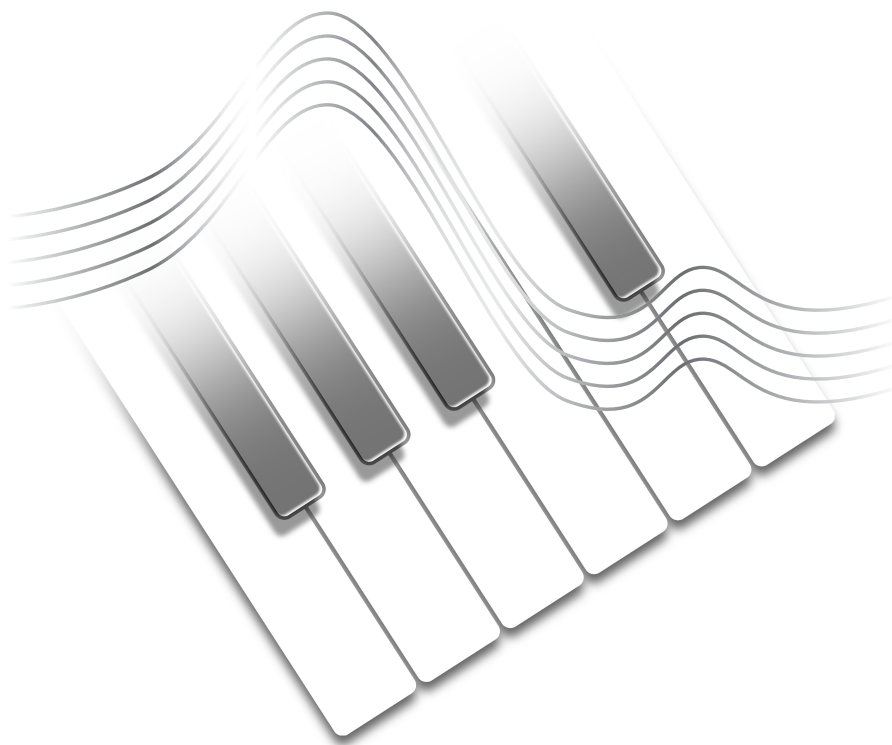


- 伴奏鍵盤でコードを指定します。
● リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

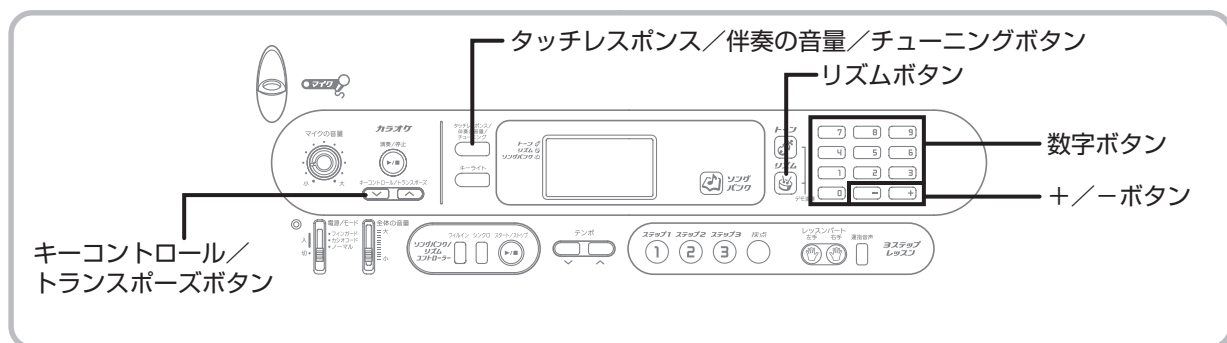
NOTE

- コードの指定方法をノーマルにしておくと、リズムのみが鳴り始めます。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロボタンを押すと待機状態が解除されます。

応用操作編



設定を変えてみましょう



トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのまま、簡単に音の高さを変えることができます。

① リズムボタンを押して、リズムモードにします。

② キーコントロール／トランスポーズボタン (Λ／∇) で音の高さを設定します。

Λ…半音単位で音が上がります。

∇…半音単位で音が下がります。

例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

05 トランスポーズ (+)

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は-12(1オクターブ下)～+12(1オクターブ上)です。
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、自動伴奏の演奏にも反映されます。
- 操作2でキーコントロール／トランスポーズボタンのΛと∇を同時に押すと、“00”になります。+ボタンと-ボタンを同時に押しても“00”になります。

タッチレスポンス機能を利用するには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変化します。

- on (オン)：通常のピアノ演奏に適した感度のタッチレスポンスがかかります。
- oF (オフ)：タッチレスポンス機能が解除された状態です。鍵盤を弾く強さに関わらず、音の大きさが一定になります。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

① タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押して、タッチレスポンスの設定画面にします。

on タッチレスポンス

- 2 +／－ボタンでタッチレスポンス機能のオン／オフ設定を変更します。

例：オフに変更します。



- タッチレスポンス機能がオンの場合。



- タッチレスポンス機能がオフの場合。



NOTE

- 自動伴奏機能やUSB端子からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。

タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンについて

通常の状態からタッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押すことで、タッチレスポンスやチューニングを設定する画面に順番に切り替わり、最後に通常の状態に戻ります。呼び出したい画面を行き過ぎた場合は、再度その画面が表示されるまでタッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押してください。

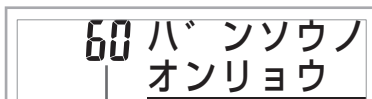
伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。音量の範囲は、最小“00”～最大“99”です。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

- 1 タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押して、伴奏の音量の設定画面にします。



現在の設定値

- 2 +／－ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量を指定します。

例：80



NOTE

- 操作1の後、表示は5秒で元に戻ります。
- 操作2で+と－ボタンを同時に押したときは、初期値になります。

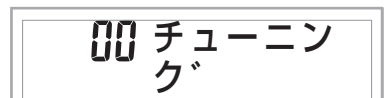
チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

準備

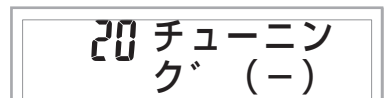
- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

- 1 タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押して、チューニングの設定画面にします。



- 2 +／－ボタンまたは数字ボタンでチューニングの量を調節します。

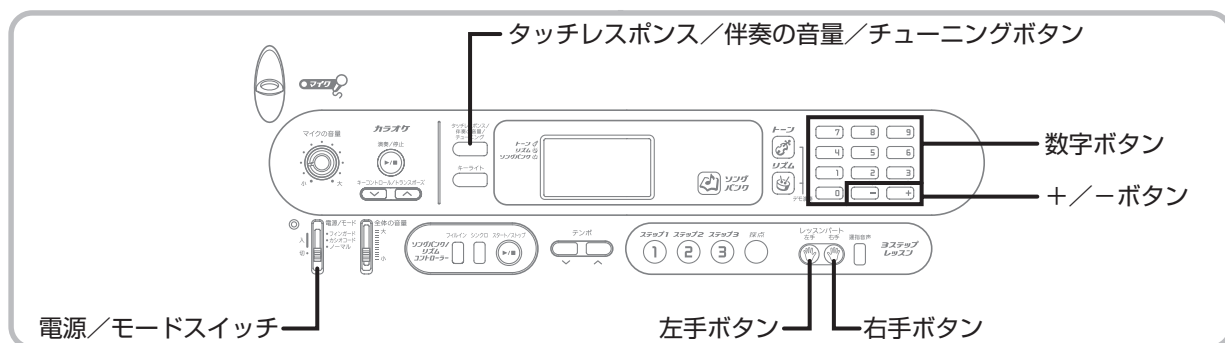
例：チューニングを20下げの場合。



NOTE

- チューニングの設定範囲は－50～＋50で、±約50セント*です。
※100セント＝半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、自動伴奏の演奏にも反映します。
- 操作2で＋ボタンと－ボタンを同時に押すと、“00”になります。

パソコンとの接続について



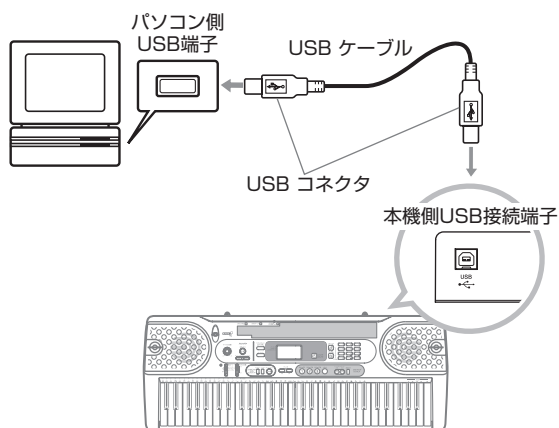
本機のUSB端子を使えば、パソコンと簡単に接続できます。同梱のCD-ROM内のUSBドライバをご自分のパソコンにインストールすれば、市販のパソコン用MIDIソフトウェアによるパソコンと電子楽器のMIDI情報の送受信がUSBポートを介して行えます。

USB 端子での接続

接続には、市販のUSB ケーブルが必要です。

接続方法

- 1 USB端子を備えたパソコンに、USBドライバをインストールしておきます。
 - ドライバのインストール方法は、付属のドライバCD-ROMのルートディレクトリにある readme.txt を参照してください。
- 2 市販のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。



GMについて

GM の規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能な MIDI チャンネル数など、音源部分の仕組みについて決められています。このため、GM 音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。

本機の音源部分はGM規格に対応していますので、市販のGM対応データやパソコン通信などで流通しているGM対応データを、パソコンなどの外部機器と接続することで再生することができます。

設定を変えるには

本機は、単体で楽しむだけでなく、外部のシーケンサーやシンセサイザーなどと組み合わせて、市販のGM対応データを再生したり同時に演奏することができます。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

GM モード オン/オフの設定 (初期値：オフ)

● GM モードがオンの場合

本機を GM 対応音源として利用するのに適しています。

- 1 タッチレスポンス/伴奏の音量/チューニングボタンを押して、GM システムオン/オフの設定画面にします。

例：GM モードはオフの状態です。



- 2 +/−ボタンで設定を変更します。

例：GM モードをオンにします。



キーボードチャンネルの設定 (初期値：1)

キーボードチャンネルとはキーボードのメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルのことです。キーボードチャンネルは1～16のチャンネルの中から1つ指定します。

- 1 タッチレスポンス/伴奏の音量/チューニングボタンを押して、キーボードチャンネルの設定画面にします。



- 2 +/−ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。
例：チャンネル4をキーボードチャンネルに設定します。



ナビゲートチャンネルの設定（初期値：4）

ナビゲートチャンネルとは、メッセージを受信し本機で演奏したときに、鍵盤を光らせるチャンネルのことです。ナビゲートチャンネルは1～16のチャンネルの中から選びます。市販のデータの好きなパートを画面で表示させて、弾き方を研究するのに便利です。

- 1 タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押して、ナビゲートチャンネルの設定画面にします。



- 2 +／- ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

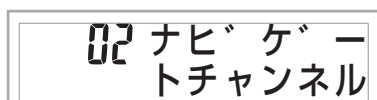
例：チャンネル2をナビゲートチャンネルに設定します。

●受信中のデータ再生中に任意の音をオフにするには
《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルのオン／オフ》

- 1 データ再生中に右手ボタンを押します。
●ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの音が消えます。オンにするには再度押します。

《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの-1チャンネルのオン／オフ》

- 1 データ再生中に左手ボタンを押します。
●ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの-1チャンネルの音が消えます。オンに戻すには再度押します。
例：ナビゲートチャンネル:4Chの場合→3Chの音が消えます。



ローカルコントロール オン／オフの設定（初期値:オン）

- ローカルコントロールがオフ（oFF）の場合：

鍵盤による演奏情報は、USB 端子からメッセージとして送られますが、本体の音源は発音しません。パソコンなどの外部機器側のMIDIスルー機能を利用するときはオフにして使用してください。

NOTE

- 本機を単体でご使用になるときにローカルコントロールをオフにすると、鍵盤を弾いても音が出なくなりますのでご注意ください。

- 1 タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを押して、ローカルコントロール オン／オフの設定画面にします。

例：ローカルコントロールはオンの状態です。



- 2 +／- ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：ローカルコントロールをオフにします。



本機で送受信可能なメッセージ

MIDI の規格では、さまざまなメッセージが決められています。ここでは本機が送受信できるメッセージについて説明します。なお、(*) 印のついたメッセージは、本機全体に対して働くメッセージ、それ以外は特定のチャンネルに対して働くメッセージです。

《ノートオン／オフ》

本機はノートオフのペロシティは受信しません。
本機のキーボードを弾いたり離したりしたときには、USB 端子からノートオン／オフのメッセージが出力されます。出る音の高さは音色によって異なります (42 ページ「音色別発音域表」参照)。本機の受信したノートナンバーが、その音色の発音域より高いか低いときは、同じ音名で一番近い発音域内の音 (オクターブ違いの音) に置き代えて発音します。

《プログラムチェンジ》

本機のパネル上で音色番号を選ぶと、同時に USB 端子からプログラムチェンジのメッセージが出力されます。同じように外部機器からプログラムチェンジ情報を送ることで本機の音色を変えることができます。

《ピッチベンド》

本機ではピッチベンド情報は送信しませんが受信は可能です。

《コントロールチェンジ》

本機が送受信可能なコントロールチェンジ／コントロールナンバー

コントロールチェンジ	コントロールナンバー
バンクセレクト*1	0、32
★モジュレーション	1
★ボリューム	7
★パン	10
★エクスプレッション	11
ホールド1	64
RPN*2	100／101
データエントリー	6／38

★印のメッセージは受信のみです。

※1 本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機の音色を選ぶ場合、プログラムチェンジ情報にバンクセレクトを組み合わせることで、本機内蔵の 100 音色と 128GM 音色の中から選ぶことができます。プログラムチェンジとバンクセレクトの組み合わせについては、40 ページの「トーンリスト」を参照してください。

例：パネル音色 78 番 (フルート) を選ぶ場合は、
コントロールナンバー 0・コントロール値 = 2 (バンクナンバー)
コントロールナンバー 32・コントロール値 = 0
プログラムチェンジ = 73
を続けて送信します。

※2 RPN (Registered Parameter Number) は、複数のコントロールチェンジを組み合わせる特殊なコントロールチェンジです。コントロールナンバー 100 と 101 のコントロール値でコントロールする要素を選び、データエントリー (コントロールナンバー 6／38) のコントロール値で値を設定します。
本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機のピッチベンドセンス (ピッチベンドデータによる音高の変化幅)、トランスポート (本機全体の音の高さを半音単位で調節する機能)、チューン (本機全体の音の高さを微調整する機能) をコントロールするのに RPN を使用します。

NOTE

- フットペダルによるサスティンの効果も受信されます (コントロールナンバー 64)。

《オールサウンドオフ》

《オールノートオフ》

《リセットオールコントローラー》

《システムエクスクルーシブ》(*)

本機は、次のエクスクルーシブメッセージに対応しています。

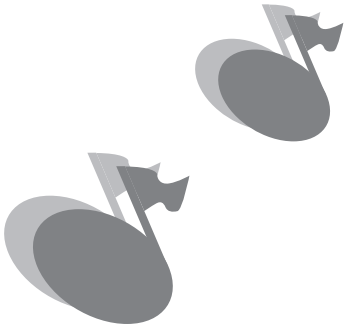
● GM システムオン ([F0][7E][7F][09][01][F7])

本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機を GM システムオンの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

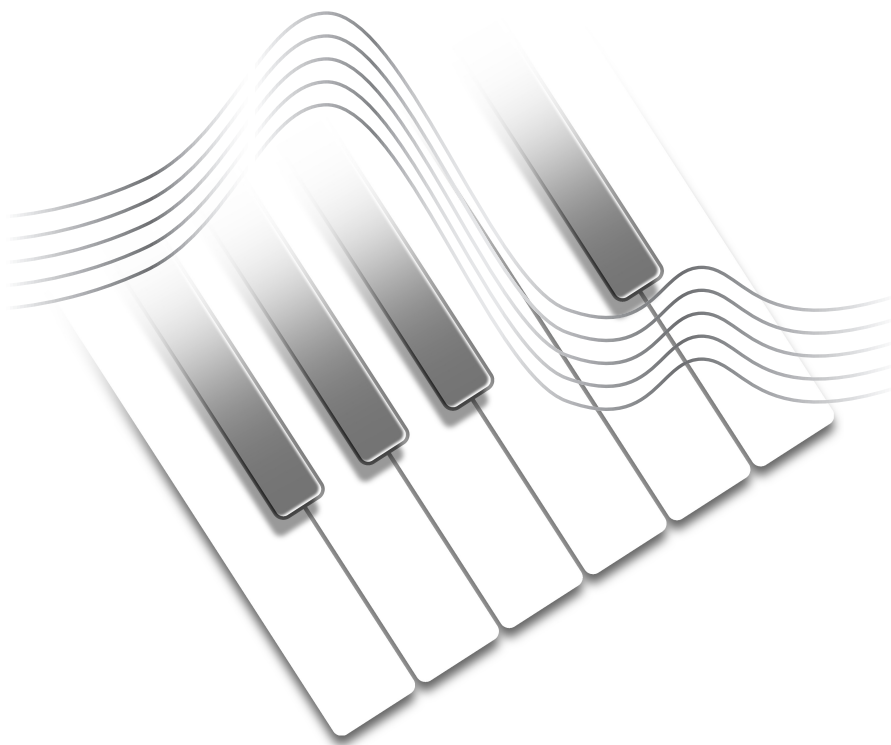
※ GM システムオンは他のメッセージよりも処理時間がかかります。このためシーケンサーに GM システムオンを記録する場合は、次のメッセージまで 50msec 以上間隔をあけるようにしてください。

● GM システムオフ ([F0][7E][7F][09][02][F7])

本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機を GM システムオフの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。



附 録



困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. 電源が正しくセットされていない。 2. 電源が入っていない。 3. 音量が下がっている。 4. 電源／モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 5. ローカルコントロールがオフになっている。	1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕ ⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 2. 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。 3. 全体の音量スライダーを上げる。 4. 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。 5. タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンから、ローカルコントロールをオンにしてください。	12ページ 16ページ 16ページ 16ページ 34ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。 ・電源ランプが暗くなった。 ・電源が入らなくなった。 ・液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・大きな音を出すと時々音が途切れる。 ・大きな音を出すと突然電源が切れる。 ・大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ・鍵盤を押していないのに音が出続ける。 ・指定の音色とは異なる音を発音する。 ・リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。 ・鍵盤の光が発音時に暗くなる。 ・マイクの音量が小さくなった。 ・マイクの音質が劣化した。 ・マイクを使うと電源ランプが暗くなる。 ・マイクを使うと電源が切れる。	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	12ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量が“00”になっている。	タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを使って伴奏の音量を上げる。	31ページ
鍵盤を弾く強弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	タッチレスポンス／伴奏の音量／チューニングボタンを使ってオンの状態にする。	30ページ

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤が点灯したままになっている。	ステップ1または2で正しい鍵盤が押されているのを待っている状態。	1. 点灯している鍵盤を押して、ステップ1または2での演奏を続ける。 2. スタート/ストップボタンでステップ1または2での演奏を中止する。	23ページ
音が出ていないのに鍵盤が点灯する。	電源切り忘れのお知らせ機能が働いている。	各ボタンや鍵盤を押すと、電源オン直後の状態に戻る。	13ページ
他の楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	トランスポーズまたはチューニングの設定が“00”以外になっている。	キーコントロール/トランスポーズボタンまたはタッチレスポンス/伴奏の音量/チューニングボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“00”にする。	30, 31ページ
マイクの音が出ない。	1. マイクの音量が絞られている。 2. マイクにあるオン/オフ (ON/OFF) スイッチがオフ (OFF) になっている。	1. マイクの音量を上げる。 2. マイクにあるオン/オフ (ON/OFF) スイッチをオン (ON) にする。	19ページ
マイクを使っているとときに雑音が入る。	蛍光灯などのノイズ源が近くにある。	ノイズ源からマイクを離す。	19ページ
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。 *元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。		

トーンリスト

① 音域のタイプ ② 同時発音数 ③ プログラムチェンジ ④ バンクセレクト MSB

番号	音色名	①	②	③	④
ピアノ					
00	グランドピアノ	A	32	0	2
01	ブライトピアノ	A	32	1	2
02	メローピアノ	A	32	0	1
03	ダンスピアノ	A	32	1	1
04	ストリングスピアノ	A	16	0	8
05	ホンキートンク	A	16	3	2
06	オクターブピアノ	A	16	3	8
07	エレクトリックグランドピアノ	A	16	2	2
08	エレクトリックピアノ	A	32	4	2
09	モダンエレクトリックピアノ	A	32	5	2
10	コーラスエレピ	A	16	4	1
11	ソフトエレクトリックピアノ	A	16	4	8
12	エレピパッド	A	16	5	8
13	ハーブシコード	A	32	6	2
14	カップルハーブシコード	A	16	6	8
15	クラビ	A	32	7	2
クロマチックパーカッション					
16	チェレスタ	A	32	8	2
17	グロッケンシュピール	B	32	9	2
18	ビブラフォン	A	32	11	2
19	マリンバ	A	32	12	2
オルガン					
20	ドローバーオルガン 1	A	16	16	2
21	ドローバーオルガン 2	A	16	16	1
22	パーカッシブオルガン 1	A	16	17	2
23	パーカッシブオルガン 2	A	16	17	1
24	エレクトリックオルガン	A	16	16	8
25	ロックオルガン	A	16	18	2
26	チャーチオルガン	A	16	19	2
27	チャペルオルガン	A	32	19	8
28	アコーディオン	A	16	21	2
29	オクターブアコーディオン	A	16	21	8
30	バンドネオン	A	16	23	2
31	ハーモニカ	A	32	22	2
ギター					
32	ナイロンストリングスギター	C	32	24	2
33	スチールストリングスギター	C	32	25	2
34	12 ゲンギター	C	16	25	8
35	ジャズギター	C	32	26	2
36	クリーンギター	C	32	27	2
37	エレクトリックギター	C	16	27	1
38	ミュートギター	C	32	28	2
39	オーバードライブギター	C	32	29	2
40	ディストーションギター	C	32	30	2
41	フィードバックギター	C	16	31	8
ベース					
42	アコースティックベース	C	32	32	2
43	ライドベース	C	16	32	8
44	フィンガーベース	C	32	33	2
45	ピックベース	C	32	34	2
46	フレットレスベース	C	32	35	2
47	スラップベース	C	32	37	2
48	シンセベース 1	C	32	38	2
49	シンセベース 2	C	32	39	2

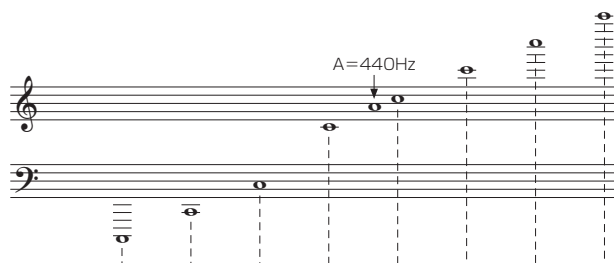
① 音域のタイプ ② 同時発音数 ③ プログラムチェンジ ④ バンクセレクト MSB

番号	音色名	①	②	③	④
ストリングス／オーケストラ					
50	バイオリン	A	32	40	2
51	スローバイオリン	A	32	40	8
52	チェロ	C	32	42	2
53	ハーブ	A	32	46	2
アンサンブル					
54	ストリングス	A	32	48	2
55	スローストリングス	A	32	49	2
56	チェンバー	A	16	48	1
57	シンセストリングス 1	A	32	50	2
58	シンセストリングス 2	A	32	51	2
59	クワイア	A	32	52	2
60	ボイスドゥー	A	32	53	2
61	シンセボイス	A	16	54	2
ブラス					
62	トランペット	A	32	56	2
63	トロンボーン	C	32	57	2
64	チューバ	C	32	58	2
65	ミュートトランペット	A	32	59	2
66	フレンチホルン	C	16	60	2
67	ブラス	A	32	61	2
68	ブラススフォルツァンド	A	16	61	8
69	シンセブラス 1	A	32	62	2
70	シンセブラス 2	A	16	63	2
リード					
71	ソプラノサックス	A	32	64	2
72	アルトサックス	C	32	65	2
73	テナーサックス	C	32	66	2
74	バリトンサックス	C	32	67	2
75	オーボエ	A	32	68	2
76	クラリネット	A	32	71	2
パイプ					
77	ピッコロ	B	32	72	2
78	フルート	A	32	73	2
79	メローフルート	A	32	73	8
80	リコーダー	A	32	74	2
81	パンフルート	A	32	75	2
82	オカリナ	A	32	79	2
シンセリード					
83	スクエアリード	A	16	80	2
84	ソートゥースリード	A	16	81	2
85	メローソーリード	A	16	81	8
86	サインリード	A	32	80	8
87	カリオペ	A	16	82	2
88	ボイスリード	A	16	85	2
89	ベース+リード	A	16	87	2
シンセパッド					
90	ファンタジー	A	16	88	2
91	ウォームパッド	A	16	89	2
92	ポリシンセ	A	16	90	2
93	ボウパッド	A	16	92	2
94	ヘイロパッド	A	16	94	2
95	サウンドトラック	A	16	97	2
96	アトモスフィア	A	16	99	2
97	ブライトネス	A	16	100	2
98	エコーパッド	A	16	102	2
ドラムセット					
99	ドラムセット	D	32	0	120

NOTE

- 音域のタイプ (A～D) は以下の表を参照してください。

音色別発音域表



音域のタイプ	C-1	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	G7	C8	C9	G9
A (標準タイプ)													
B ("17 グロックンジュピール" / "77 ピッコロ")													
C (低域楽器)													
D (ドラムセット)	音階のない音色												

a  ……鍵盤演奏時の音域

b  ……発音可能音域 (トランスポーズ、メッセージの受信時)

リズムリスト

番号	リズム名
ポップス	
00	クラブポップ
01	ファンキーポップ
02	ソウルバラード
03	ポップバラード
04	16ビートファンク
05	ポップフュージョン
06	フォーキーポップ
07	ダンスポップ
08	ニューエイジ
09	8ビート
10	16ビート
ロック	
11	スローロック
12	ソフトロック
13	ロック
14	50'sロック
15	60'sソウル
16	シカゴブルース
17	ツイスト
18	リズム&ブルース
19	ヘビーメタル
20	ロックワルツ
ジャズ／フュージョン	
21	ビッグバンド
22	スイング
23	スロースイング
24	フォックストロット
25	ラテンフュージョン

番号	リズム名
ダンス／ファンク	
26	テクノ
27	ディスコ
28	ファンク
29	ラップ
30	トランス
ヨーロピアン	
31	ポルカ
32	ワルツ
33	スローワルツ
34	マーチ
35	タンゴ
ラテン／その他 I	
36	ボサノバ
37	マンボ
38	レゲエ
39	カントリー
40	サンバ
41	フォルクローレ
42	スカ
43	メレンゲ
その他 II	
44	デックスメックス
45	バロック
46	唱歌 1
47	唱歌 2
48	音頭
49	演歌

ソングバンクリスト

番号	曲名
ポップス／歌謡曲	
00	地上の星
01	世界に一つだけの花
02	TSUNAMI
03	亜麻色の髪の乙女
04	いい日旅立ち
05	川の流れるように
06	知床旅情
07	君といつまでも
08	バラが咲いた
09	夜霧よ今夜もありがとう
10	渡る世間は鬼ばかりテーマ
季節の歌	
春	
11	早春賦
12	おぼろ月夜
13	春の小川
14	さくら さくら
15	花
夏	
16	雨ふり
17	夏は来ぬ
18	我は海の子
秋	
19	もみじ
20	虫の声
21	村まつり
冬	
22	雪
23	お正月
24	冬景色
心の歌	
25	ふるさと
26	荒城の月
27	琵琶湖周航の歌
28	宵待草
29	ゴンドラの唄
30	ズンドコ節

番号	曲名
イベント	
31	ハッピー・バースデー・トゥ・ユー
32	ジングル・ベル
33	きよしこの夜
34	ほたるの光
35	一月一日
36	うれしいひなまつり
子供の歌／世界の歌	
37	となりのトトロ
38	ドラえもののうた
39	大きな古時計
40	げんこつ山のたぬきさん
41	ねこふんじゃった
42	アメイジング・グレイス
43	聖者の行進
44	森のくまさん
45	アルプス一万尺
46	スワニー河（故郷の人々）
47	草競馬
48	ケンタッキーの我が家
49	わらの中の七面鳥
50	線路は続くよどこまでも
51	朝日のあたる家
52	黄色いリボン
53	きらきら星
54	ぶんぶんぶん
55	かわいいオーガスチン
56	大きな栗の木の下で
57	グリーンスリーブス
58	マイ・ポニー
59	ロンドン橋
60	埴生の宿
61	ダニー・ボーイ
62	アニー・ローリー
63	しあわせなら手をたたこう
64	ちょうちょう
65	ラ・パロマ
66	サンタルチア
67	森へいきましよう
68	トロイカ
69	さらばジャマイカ
70	アロハオエ
71	ラ・クカラチャ

番号	曲名
クラシック	
72	G線上のアリア
73	春「四季」より
74	セレナード 「アイネ・クライネ・ナハート・ムジーク」より
75	喜びの歌
76	婚礼の合唱「ローエングリン」より
77	凱行進曲 歌劇「アイダ」より
78	闘牛士の歌 組曲「カルメン」より
79	ハバネラ 歌劇「カルメン」より
80	前奏曲「アルルの女」より
81	白鳥「動物の謝肉祭」より
82	行進曲「くるみ割り人形」より
83	情景「白鳥の湖」より
84	威風堂々 第1番
ピアノ練習曲集	
85	ハ調長音階
86	バイエル練習曲 5番
87	バイエル練習曲 6番
88	バイエル練習曲 8番
89	バイエル練習曲 11番
90	バイエル練習曲 12番
91	バイエル練習曲 18番
92	バイエル練習曲 20番
93	バイエル練習曲 35番
94	バイエル練習曲 48番
95	バイエル練習曲 60番
ピアノ名曲集	
96	メヌエット（J. S. バッハ）
97	ピアノ・ソナタ 作品27の2「月光」第1楽章
98	エリーゼのために
99	energy flow

フィンガードコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの押さえ方です。(転回形も含まれています)

コード種 ルート	メジャー	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	m7 ^b 5 (マイナーセブンスフラットフィフス)	dim (ディミニッシュ)
C	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
C [#] (D ^b)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
D	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E ^b (D [#])	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F [#] (G ^b)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
G	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
A ^b (G [#])	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
A	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B ^b (A [#])	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B	[5, 2, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	※	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]

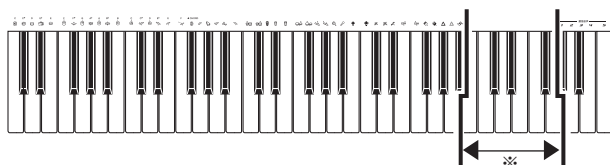
コード種 ルート	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7 sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアドナインズ)	m M7 (マイナーメジャーセブンス)	7-5 (セブンスフラットフィフス)	add9 (アドナインズ)
C	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
C# (D♭)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
D	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
E♭ (D#)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
E	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F# (G♭)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
G	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
A♭ (G#)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
A	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
B♭ (A#)	※	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
B	※	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]

※ 伴奏鍵盤の範囲の関係で押さえられませんが、同じ構成音の aug コード（ベース音が異なる）で代用できる場合があります。

- B[♭]aug と構成音の同じコード： D[♭]aug, F[♯]aug
- B[♭]aug と構成音の同じコード： E[♭]aug, G[♭]aug
- A[♭]dim7 と構成音の同じコード： C[♭]dim7, E[♭]dim7, F[♭]dim7
- B[♭]dim7 と構成音の同じコード： C[♭]dim7, E[♭]dim7, G[♭]dim7
- B[♭]dim7 と構成音の同じコード： D[♭]dim7, F[♭]dim7, A[♭]dim7

ドラム音色リスト

本機で“99 ドラムセット”の音色を選ぶと、下図の打楽器音や音声が割り当てられます。(鍵盤上側のイラスト参照)



※この範囲は、鍵盤を押しても音は鳴りません。

スタンダード キック サイドスティック スタンダード スネア 1 ハンドクラップ スタンダード スネア 2 ロー タム 2 クローズド ハイハット ロー タム 1 ペダル ハイハット ミドル タム 2 オープン ハイハット ミドル タム 1 ハイ タム 2	クラッシュシンバル 1 ハイ タム 1 ライドシンバル 1 チャイニーズシンバル ライドベル タンバリン スプラッシュシンバル カウベル クラッシュシンバル 2 ビブラスラップ ライドシンバル 2 ハイ ボンゴ ロー ボンゴ	ミュート ハイ コンガ オープン ハイ コンガ オープン ロー コンガ ハイ ティンバレス ロー ティンバレス ハイ アゴゴ ロー アゴゴ カバサ マラカス ショート ハイ ホイッスル ロング ロー ホイッスル ショート ギロ ロング ギロ	クラベス ハイ ウッドブロック ロー ウッドブロック ミュート クイーカ オープン クイーカ ミュート トライアングル オープン トライアングル シェーカー 1 カウントボイス 1 2 カウントボイス 2 3 カウントボイス 3 4 カウントボイス 4 5 カウントボイス 5
--	--	--	---

カシオトーン用楽譜集のご紹介

多彩な音色やリズム、指一本でも本格的な演奏が楽しめる自動伴奏機能（カシオコード）などを、パーフェクトに使いこなしていただくための楽譜集です。

楽譜集

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリー カシオトーンランドシリーズ

CFL-101YC よてそかトーンランドへ	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた 1	CFL-104KU こどものうた 2	CFL-107HP ヒットポップス	CFL-108NM ニューミュージック
(子供用入門) 大きな栗の木の下で 茶色のごびん かつこう 他 全37曲	(大人用入門) 河は呼んでる 500マイルはなれて 駅馬車 他 全35曲	アイアイ いぬのおまわりさん ぞうさん 他 全45曲	春がきた 赤とんぼ ハイ・ホー 他 全44曲	すべてをあなたに やさしく歌って レット・イット・ビー 他 全29曲	いとしのエリー ANNIVERSARY SUMMER CANDLES 他 全24曲
CFL-109EL イーザーリスニング	CFL-111HS ヒットソング1	CFL-112HS ヒットソング2	CFL-113RK 永遠のロック		
オリーブの首飾り マイ・ウェイ ある愛の詩 他 全29曲	君がいるだけで それが大事 ラブストーリーは突然に 他 全20曲	SAY YES どんなときも 会いたい 他 全21曲	青い影 キラー・クイーン スモーク・オン・ザ・ ウォーター 他 全21曲		

★上記ご案内は、本書印刷時点でのものです（万一品切れの際はご容赦ください）。

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパート）でお求めになれます。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

●テレビやラジオの近くでは使わないでください。

テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから充分に離してお使いください。

●お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。

鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

●極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。

液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

製品仕様

型式	LK-41
鍵盤 ・光鍵盤	61 鍵 5 オクターブ（標準鍵）……タッチレスポンス機能付き（オン／オフ） 同時発光数（最大 4 鍵）、オン／オフ設定可
音色数	100 音色
リズム楽器音色数	52 音色
同時発音数	最大 24 音（一部音色により最大 12 音）
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・伴奏の音量	50 種類 可変（216 段階 ♩ = 40～255） 2 種類（カシオコード／フィンガード） 00～99（100 段階）
<3 ステップレッシン> 3 ステップレッシン機能 ・再生方式 ・採点機能 ・連指音声機能	3 種類（ステップ 1、2、3） 1 曲繰り返し再生 採点機能 オン／オフ
ソングバンク機能 ・曲数	自動伴奏曲：85 曲、ピアノ曲：15 曲
カラオケ機能 ・曲数 ・コントローラー	自動伴奏曲：85 曲 演奏／停止、キーコントロール（25 段階、－12 半音～0～＋12 半音）
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	25 段階（－12 半音～0～＋12 半音） 101 段階可変……A4＝約 440Hz ± 50 セント
端子 ・サステイン端子 ・ヘッドホン・アウトプット端子 ・電源端子 ・マイク入力端子 ・USB 端子	標準ジャック ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス 94 Ω 出力電圧 4V (RMS) MAX DC9V 標準ジャック（マイクボリュウム付き） 入力インピーダンス 3KΩ 入力感度 10mV
電源 ・電池 ・家庭用 100V 電源使用 ・オートパワーオフ機能	2 電源方式 単 3 形電池 6 本使用 電池持続時間：アルカリ電池使用時……約 4 時間 マンガン電池使用時……約 1 時間 AC アダプター AD-5JL を使用 約 6 分後（電池使用時） キャンセル可能
スピーカー出力	2.5W + 2.5W
消費電力	9V ー 7.7W
サイズ	幅 94.4 × 奥行き 37.3 × 高さ 13.0cm
重量	約 4.6kg（電池含まず）
付属品	譜面立て、AC アダプター（AD-5JL）、CD-ROM、取扱説明書（本書）、保証書、楽譜集

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サスティンペダル	SP-3
	SP-20
ソフトケース	SC-550B
スタンド	CS-4B
	CS-7W
楽譜集は49ページをご覧ください。	

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）でお求めになれます。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承くださいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
- また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

Model LK-41

USB端子で送信・受信されるMIDIメッセージについて

Version : 1.0

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代 用	モード3 × * * * * *	
ノート ナンバー： 音 域	36 ~ 96 * * * * *	0 ~ 127 12 ~ 108 *1	*1 : 音色による
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v = 1 ~ 127 × 9nH v = 0、8nH v = **	** : 関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	
ピッチ・ベンド	×	○	
0, 32 1 6, 38 7 10 11 64	○ × × × × × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド1

100, 101 120 121	×	×	×	○ *2 ○ ○	RPN LSB, MSB オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントロール
プログラムチェンジ: 設定可能範囲	○ 0 ~ 102 *3 * * * * *	○ 0 ~ 127 * * * * *	*3 : 40~42ページ参照		
エクスクルーシブ	×	○ *4			
コモン : ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン	×	×	×	×	
リアル タイム : クロック : コマンド	×	×		×	
その他 : ローカル ON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : リセット	×	×	×	×	
備 考	*2 : ファインチューン、コースチューンの送受信、およびピッチベンドセンス、RPN Nullの受信 *4 : GM オン/オフ GM ON : [F0] [7E] [7F] [09] [01] [F7] GM OFF : [F0] [7E] [7F] [09] [02] [F7]				

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

© MA0407-A Printed in China
LK41-JA-1